

ゼミ B 平成 26 年 9 月 21 日(日) 10:30 ~ 12:00

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
吉田	B 1	言語学が可能にすることは何か —言語を科学するとは？  西本 希呼 (白眉センター(東南アジア研究所) 特定助教)	本セミナー(連続2コマ)の前半(ゼミB)では、言語学とは何かをわかりやすく解説し、世界地図を見ながら言語多様性と生物多様性について考える。さらに、言語学がどのような異なる分野(植物学、考古学、遺伝子学、医学、社会学、政治学、コンピュータ、科学社会学)と密接にかかわっているか講じる。	参加型・講師との双方向コミュニケーション型・自由討論	保護者 参観型  ※C1と連続して受講することが望ましい。(1コマだけの受講も可)
吉田	B 2	測地学 —重力を測って地球を探る  風間 卓仁 (理学研究科助教)	「測地学」は、地球の大きさや形を測定する学問です。今回は、測地学の観測で一般的な重力測定を皆さんに体験してもらいます。地球が私たちを引きつける力「重力」が、場所によってどれくらい違うのかを確かめます。この体験を通して、観測の重要性や地球の大きさを実感してみましょう。	実験	保護者 参観型  ※A2、C2と同じ内容
吉田	B 3	環境を測る技術と衛る技術 —環境工学の基礎—  高野 裕久 (工学研究科教授)	環境に関する技術について学びます。特に、水の質を調べる方法と改善する方法の原理を学んだ上で、皆さんと一緒に実験を行います。あわせて、京都大学の環境工学系の研究室で行っている研究の紹介も行います。	講義・実験・ポスターによる研究紹介	保護者 参観型
吉田	B 4	お米と遺伝子  中崎 鉄也 (農学研究科准教授) 築山 拓司 (農学研究科助教) 小出 陽平 (白眉センター(農学研究科) 特定助教)	私たちが普段食べているお米は、人類が長い時間をかけて改良し作り出されたものです。この改良によってお米の遺伝子は様々に変化してきました。今回のゼミでは普段あまり見ることのできないお米の祖先を紹介します。また、お米の味の遺伝の仕組みについて簡単な実験を行います。	講義・実習	保護者 参加型
吉田	B 5	留学生と一緒に 世界の環境問題を考えよう  舟川 晋也 (地球環境学堂教授)	環境問題は私たちにとって国を越えた課題です。本ゼミではアジア・中南米からの留学生らが中心となり、海外(特に開発途上国)の環境問題や解決に向けた研究や実践を紹介します。教員と留学生を交えた小グループに分かれ、自由に質問や議論をしながら、世界の環境問題について考えましょう。留学生による発表や留学生との対話は日本語(もしくは通訳付き)で行います。	講義・グループディスカッション	保護者 参観型  ※C5と同じ内容
吉田	B 6	発話牽引型英語学習の科学的根拠： 生物学・脳科学・統計学  青谷 正妥 (国際交流推進機構准教授)	聴解野と発話野がヒトの言語野であり、話し言葉が「ザ・言語」です。実際、読み書きに特化した部位はなく、読み書きも聴解・発話野が司令塔です。都市伝説・民間療法的な英語学習論が不毛な理由の確固たる科学的根拠を、自らも結果を出した講師(TOEFL/TOEIC 満点、理学・教育学博士)が、神推しの学習法とともに詳説します。	講義	保護者 参加型

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
吉田	B7	森の自然と環境問題： 未来をのぞく望遠鏡  伊勢 武史 (フィールド科学教育研究センター准教授)	私たちの身近な自然はいま、人間の活動のせいで大きく変化しようとしています。木の伐採や地球温暖化によって、自然環境はどう変化するのでしょうか。このような気になる疑問を解決するのに役立つ道具のひとつとして、コンピュータを使ったシミュレーションがあります。シミュレーションすると、未来の自然の様子を、まるで望遠鏡をのぞくように知ることが可能になります。	講義・実験	保護者 参観型
吉田	B8	大学生と語るジェンダー (「男らしさ」や「女らしさ」などの 社会的性別)  伊藤 公雄 (文学研究科教授)	ポケットゼミ参加の京大生とジェンダー(「男らしさ」「女らしさ」とは何か、どんな問題があるかなど)をめぐって議論を行う。	グループ 討論	保護者 参加不可
河原町四条	B9	フランソア喫茶室  佐藤 裕一 (工学研究科助教)	フランソア喫茶室は京都を代表する喫茶店の一つで、80年前の創業以来、たくさんの学者、学生、芸術家に愛されてきました。また戦前の言論の自由がない時代、この喫茶店を拠点に自由を主張する新聞が編集されました。このようなお店の歴史をお話します。	講義	保護者 参加不可
吉田	Y2	古生物学 ～スナメリの骨から考える イルカの進化～  若手研究者 特別ゼミ  総合博物館	現在、最も水中生活に適応した哺乳類にイルカ類が挙げられる。本講義では、様々な動物の骨格と比較しながら、イルカの1種、スナメリの全身骨格を受講者全員で組み立て、イルカ類の水中生活への適応と進化について考えてもらう。	ハンズオン 標本を用いた 授業・グル ープ学習	保護者 参観型



平成 25 年度の様子